

長期軸力による面圧の選定計算を満足する『SS7』データの作成

本プログラムの説明

符号ごとに配置した免震支承材の種別、メーカー、シリーズから面圧を満足する選定計算を行います。また、選定結果を反映した『SS7』データを作成します。

本プログラムの実行方法

1. 「main.py」を編集して、必要なパラメータを設定します

変数	説明
data_pass	選定計算の対象とする物件データの絶対パス（入力・結果csvファイルの掃き出しや『SS7』データの作成にも使用します）「r"C:\\$\$\$\$\$\$"」など
ss7_data_name	選定計算の対象とする『SS7』の物件データ名（"###.ikn"など）本プログラムではss7_data_nameで指定した物件データに変更は加えません。
version	『SS7』のバージョン番号（"1.1.1.19"など）
result_no	対象とする結果名（"結果1"など）
ss7_data_res_name	選定結果を反映した『SS7』の物件データ名（".ikn"は不要）必ずss7_data_nameと別名にしてください。ss7_data_nameが既に選定を満足しているときはss7_data_res_nameを作成しません。

2. コマンドラインからプログラムを実行します。

例) C:に「example」というフォルダ名で配置する場合

```
cd C:\example\src
python main.py
```

3. data_pass で指定した場所に選定計算を反映した『SS7』の物件データが作成されます。また、data_passに選定の中間結果として以下のcsvファイルが出力されます。

ファイル名	説明
input.csv	ss7_data_nameで指定した『SS7』物件データの入力csvファイル
input_select.csv	選定終了後の『SS7』物件データの入力csvファイル
result.csv	選定終了後の『SS7』物件データの結果csvファイル
select_temp.csv	選定計算中の製品および面圧の中間結果ファイル

注意事項

- 本プログラムは『SS7』Ver1.1.1.19で動作確認を行いました。
- 『SS7 Op.免震部材』のデータは「応力解析（一次）」まで終了しておく必要があります。
- 符号ごとに選定計算を行うため、ある程度長期軸力でグルーピングしておく必要があります。
- ユーザー登録製品で作成された『SS7』データが対象となり、メーカー製品リストの読み込みが行われている『SS7』データは対象外となります。
- 選定計算により製品が変更されることで免震支承材の鉛直剛性が変わる場合がありますので、選定後の製品を用いた「応力解析（一次）」の計算を行い、変動した長期軸力による選定計算を繰り返します。そのため、『SS7 Op.免震部材』のライセンスが必要となります。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

1. 『SS7』を起動し、[ツール - 環境設定 - Op.Python実行]画面を表示します。
2. “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
3. デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

必要な外部ライブラリ

外部ライブラリは不要です。

著作者

Copyright(C)2024 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。